

だな」になるかという言いつゝ、完璧に理解しきつて思いつからずではないかと思ひます。それは多分無理と言つた、本当に理解しきつて思ひたら、それこそ昔の古文書とかを調べないといけないくらい、やはり奥が深いものです。ですから理解しきつて思いつくをやめて欲しい。

越野：そういう考え方って日本人の特徴ですね。
観世：最近流行のK-POPアイドルや洋楽は、歌詞が分からなくてもリズムやメロディーだけで楽しめます。ああいう感覚で、全部は理解しようとは思わないで来てくれるのが一番いいかなと思います。

越野：なるほど。外国語だと思つて聞けばいいですね。

観世：寝ちゃダメだと思つている人も多いんですけど。これ、先生がおっしゃたのですが、能って心地良くなる音が出ているので、眠くなることは間違いじゃない。間違いですけど……と割り切つていいと思ひます。まあ、私が言つていいのだからないですけど、寝てしまうことは仕方ないことなので、もっと気軽に考えて良いと思います。よくチラシに短いあらすじみたいなものが書いてあるのでそれを本番前に軽く読むだけで、あとはもう想像しながら、リラックスして見ていただけるのが、特に初めての方には一番楽しい見方なのかなと思ひますね。

越野：それはすごく敷居が下がつたと言つた、ハードルが下がつた感じがしますね。ありがとうございます。そういう意味では海外の方なんかの方が、そういう受け取り方をされているのかな。海外での反応は如何ですか？

観世：やはり海外では、日本よりも自国の文化の歴史を重んじている国が多いので。そういうところに行くと、日本の伝統芸能のすごさを感じるといふか、受け入れが難しいと言つたですね。その他の国でも、さっき言つたように理解しないと見てくたさつていて、日本人よりも反応が良いと思ひます。以前にニューヨーク公演を先生がさせていた時に、海外のお客様が内容が分からないはずなのに、日本人のお客様が泣くところと同じところで泣いていたのです。だからやはり、細部を理解しなくても、その独特の雰囲気と情愛とか、そういうのが分かるのだなと思ひました。

越野：なるほど。三郎太さんとしては、海外公演をこれからも積極的にやりたいとお考えですか？

観世：コロナ禍で二時期海外公演がなくなりましたが、私は、今年ヨーロッパの方に行かせていただいたのと、この後、十月もニューヨークカーネギーホールでさせて頂きます。来年も、海外で大規模公演をさせて頂いたのが決まっております。今後も続けて行つて、いつかは渋沢栄一翁の能を海外でできたらいいなと思つています。

越野：いやあ、ありがとうございます。理事長、嬉しいですね、この言葉をいただいたのは。

大前：いや、本当にありがとうございます。

越野：「コロナ」肺炎では、渋沢栄一について研究するセミナーが開講されています。ベルギーの大学が第二次世界大戦で被害を受けた時には渋沢翁が資金援助したりしています。世界中の色々なところに、渋沢翁と関りのある人たちがいます。そういうところで、「青淵」が演じられるのが、私たちの望みでもあります。

大前：いや、本当にそうですね。ぜひ。

越野：最後に、顕彰能「青淵」を初めて演じる意気込みを改めて伺いたいと思ひます。

観世：やはり、せつかく能を選んで、物語にいたしましたので、能楽と共に今後六五〇年じゃないですけど、今後ともずっと長く演じられるような作品にしたいと思つています。またこの渋沢栄一翁のことを、日本だけでなく世界に能楽と「コラボレーション」して広めて行けることができればいいなと思つております。

越野：そうですね。理事長、最後に言をお願いします。

大前：いや、もう本当に、もう期待しかありません。観光協会の活動の中で感じる事ですが、海外の方は、歴史とか文化に興味を持っています。ぜひ、三郎太さんには、渋沢翁の事を世界に広げる火付け役になって頂ければと思つています。能楽にとってもそれは良い事になると思ひます。期待しています。

越野：そうですね。ぜひ、「青淵」と一緒に、大前理事長が開発された「渋沢まんじゅう」や「しぶさわくん」も一緒に世界に広めていただければと思ひます。

どうも今日はありがとうございました。

観世：ありがとうございました。



2012年城北信用金庫 専務理事。2015年より城北信用金庫 理事長。2017年東京北区観光協会会長。2011年芸術家 筒井はじめと「ラブ・モンス」を結成。2022年渋沢栄一にちなんだ楽曲「しぶさわくんの唄」企画から編曲まで手掛ける。



越野 充博
(こしのみつひろ)

東京商工会議所北支部会長。
1958年東京都北区生まれ。1982年早稲田大学商学部を卒業。1991年東京都北区内で百年余りの歴史を持つ越野建設株式会社代表取締役就任。140年以上の歴史を持つ東京商工会議所の初代会頭で飛鳥山に居を構えた渋沢栄一翁が新二万円札に採用されたことから、北区の魅力と価値を高めるため、シビックプライドをキーワードとした民間主導の公民連携活動による「まちづくり」を実践している。

渋谷CROSSFM「Life with Music」しぶさわくんF.Mのパーソナリティとして活躍中。

